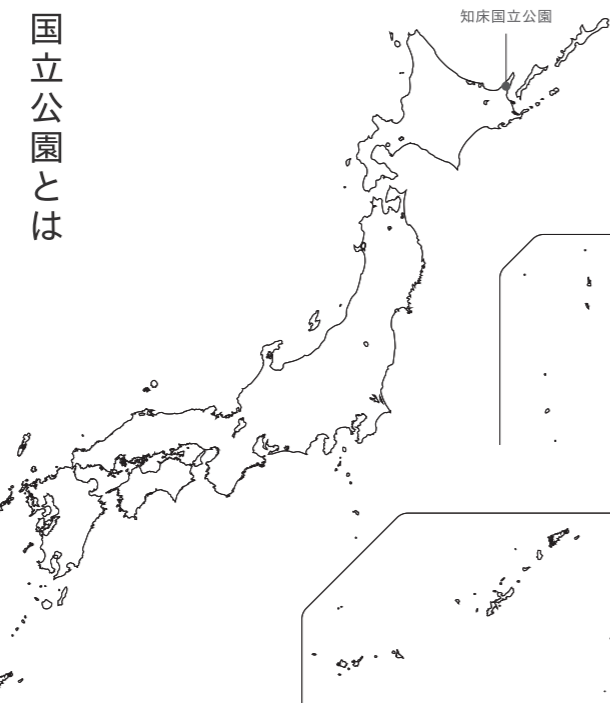


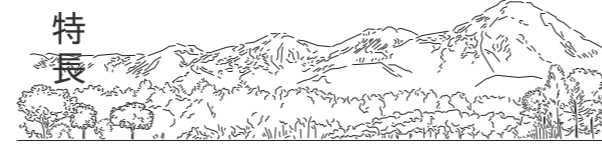
知床 国立公園

National
Parks
of Japan



国立公園とは

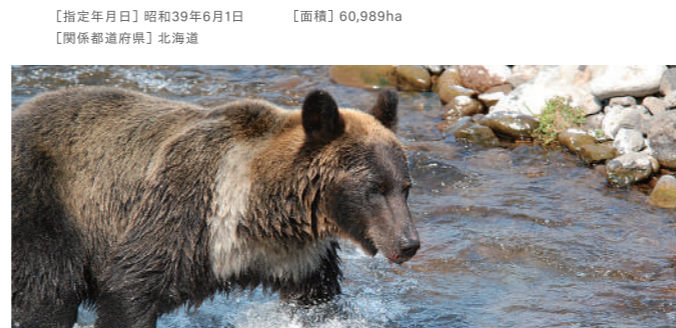
国立公園は、日本を代表する自然の風景地として、自然公園法に基づいて国が指定するものです。北は北海道から南は沖縄、小笠原諸島まで34の国立公園が指定されており、年間3億人以上が利用しています。国立公園内は、自然の絶景だけではなく、野生の動植物、歴史文化などの魅力の宝庫です。日本の国立公園は、森林、農地、集落など多様な環境が含まれていることが特長です。ほとんど手つかずの自然が残されているところがある一方で、自然と人の暮らしが織りなす地域の歴史や文化にふれることができます。是非、実際に国立公園を訪れ、四季折々に変化する日本の美しい自然を満喫してください。



特長

流水がつなく豊かな生態系、
火山が生んだ山々と
海岸断崖が織りなす雄大な景観

アイヌ語で「地の果て」を意味する「シリ・エトク」を語源とする知床は、まさに日本の最東北端に位置します(北方領土を除く)。知床国立公園は、火山活動や流水などによって形成された険しく雄大な景観と、野生生物の豊かさに特徴づけられます。特にヒグマやシャチなどの大型哺乳類や、絶滅の恐れがある大型の猛禽類も多く生息し、それらを頂点として、様々な野生動物が相互に関係あい、色濃く息づいています。こういった生物の多様性と海・川・森の生態系のつながりが評価され、平成17年7月には知床は世界自然遺産に登録されました。



【指定年月日】昭和39年6月1日 【面積】60,989ha
【関係都道府県】北海道

地形
地質
景観

知床半島は、長さ約70km、幅は基部で約25kmの細長い半島です。半島の主峰である羅臼岳の山頂からは、両側の海からそそり立つように1,200~1,600mの急峻な山々が一列に連なっている庄巻の景観を望むことができます。知床連山と呼ばれるこれらの山々は、火山活動によって形成されたものです。半島西側の海岸線には高さ100mを超える断崖が続いています。これは流出した溶岩が、流水に激しく浸食されて形作られたものです。また、フレベの滴のように、



知床連山



知床岬

溶岩の間に地下水が流れ、断崖から滝となってオホーツク海に流れ落ちている光景も多く見られます。これらの険しい断崖は、人や天敵の侵入を拒み、ケイマフリなどの海鳥類の貴重な繁殖地になっています。一方、流水が強い勢いで接岸しない半島東側は、比較的なだらかな海岸線が続き、先端部まで番屋が点在しています。このように、知床では、中央にそびえる知床連山を境に、半島の西と東で対照的な地形が見られるのが特徴です。



断崖



断崖を巣穴とするケイマフリ



— しれとこ100平方メートル運動 —

斜里町では、公園内の開拓跡地を開発の危機から救うため、昭和52年に日本のナショナルトラスト運動の先駆けである「しれとこ100平方メートル運動」が始まりました。現在は、「しれとこで夢を育てませんか!」を合言葉に、取得した土地で森づくりが行われています。

— ヒグマの棲家におじゃまする —

知床では自然に対する「謙虚さ」と「畏怖・畏敬の念」を根底とした「ヒグマの棲家におじゃまする」という利用にあたっての基本的な考え方が盛り込まれた「利用の心得」などが作られています。

— 知床五湖の2つの歩き方 —

知床五湖では、植生保護や人とヒグマとの軋轢解消を目的として、利用調整地区制度が導入されています。現在は、バリアフリー化され誰でも自由に安全に歩くことができる高架木道と、時期に応じてガイドの同行やレクチャーが義務付けられる地上遊歩道という2つの歩き方が提供されています。



ガイドツアー

100平方メートル運動

連絡先一覧

北海道地方環境事務所
釧路自然環境事務所
〒085-8639 北海道釧路市幸町10-3 釧路地方合同庁舎4F
| TEL | 0154-32-7500 | FAX | 0154-32-7575

ウトロ自然保護官事務所
〒099-4355 北海道斜里郡斜里町ウトロ西186-10
| TEL | 0152-24-2297 | FAX | 0152-24-3646

羅臼自然保護官事務所
〒086-1822 北海道目梨郡羅臼町湯の沢388
| TEL | 0153-87-2402 | FAX | 0153-87-2468

知床国立公園サイト
<http://www.env.go.jp/park/shiretoko/index.html>



火山情報をご確認ください
http://www.jma.go.jp/volcano/map_1.html



環境省 発行年: 2018年



※ 見どころ案内マップは、指定区域の概要を示すために作成したものであり、誤差があることを考慮した上でご利用ください。

動物
生態系
文化

— 動物・生態系 —

哺乳類は、陸上哺乳類36種、海生哺乳類22種の生息が確認されています。これらの中には、トド、マッコウクジラといった国際的に希少な種も含まれます。また、知床の代表的な動物といえば、日本最大の陸上動物であるヒグマです。知床半島の生息数は数百頭と推測され、世界でも屈指の高密度であるといわれています。鳥類は285種が記録されており、絶滅危惧種であるシマフクロウやオジロワシ、クマガラなども生息しています。また、国立公園や周辺地域はオオワシにとって世界的に重要な越冬地で、越冬個体が1,000羽以上にもなります。



このように、たくさんの野生動物が狭い範囲の中で生息していけるのは、知床ならではの海、川、森のつながりによるところが大きいです。知床に到来する流水は、アイス・アルジーと呼ばれる植物プランクトンを伴ってやってきます。春になり流水が溶けると、アイス・アルジーは爆発的に増殖し、それを食べる動物プランクトンが増えます。サケ科魚類の稚魚が、これらの動物プランクトンを食べながら知床を旅立ち、海を数回回遊した後、知床に戻ってきます。そして、川を遡上するサケは、ヒグマやワシ類の食料となり、陸域の生態系の礎となっているのです。



— 世界自然遺産 —

世界遺産の基準を満たすとして認められた知床の自然の特徴・価値を分かりやすく言えば、①流水がもたらす海の恵み、②サケ類がのぼる川が結ぶ海と陸とのつながり、③海・川・森が支える貴重な野生生物の3つです。

登録基準「生態系」
・知床は北半球で最も低緯度に位置する季節海水域であり、その影響を大きく受けた高い生産性がみられ、海と陸の生態系の相互関係の顕著な見本である。

登録基準「生物多様性」
・知床は海洋性及び陸上性の多くの種にとって特に重要であり、これらの中には多くの希少種が含まれている。
・知床は多くのサケ科魚類、トドやクジラ類などの海生哺乳類にとって世界的に重要である。
・知床はケイマフリなどの世界的に希少な海鳥類や、オオワシやオジロワシなどの渡り鳥の生息地として重要である。



— 植物 —

急峻な知床では短い距離で標高に応じた植生の変化が見られ、低いところから順に、トドマツやミズナラなどからなる針広混交林、ダケカンバ林、ハイマツ帯へと移りかわります。陸上の維管束植物相は872種からなり、そのうち233種が高山植物で、シレトコスミレなどの固有種や、希少種も多く含まれます。

— 文化 —

知床では、古くから狩猟や漁業、植物採取などをしながら、豊かな自然を大切にきた文化を育んできました。現在でも、地域の主要な産業である漁業は、生産力の高い豊かな海に支えられ、シロザケ、カラフトマス、スケトウダラ、コンブなどの水産資源の持続可能な利用が図られています。



シレトコスミレ



サケ漁

国立公園の利用上のマナー

多くの方に楽しく利用していただくために、国立公園内では自然を大切にすることを心がけ、次のことを守ってください。

- ゴミを捨ててください
- 植物を採らないでください
- 動物に餌を与えないでください
- 動物を獲らないでください
- 歩行中禁煙
- たき火は指定の場所で行いましょう

- ・道を外れて歩かないでください。
- ・遊歩道上で食べ歩きや、野外での調理は行わないでください。ヒグマなどを誘引する原因となります。
- ・ヒグマに近づかないで、刺激しないようにしましょう。
- ・車のスピードは控えめにしましょう。
- ・漁業活動を妨げないでください。

01 フレベの滝 B4



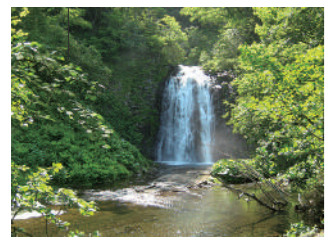
別名「乙女の涙」と呼ばれ、断崖の途中から伏流水が噴き出す滝です。冬にはスノーシューを使って、凍った滝の姿を見に行くことができます。

02 知床五湖 B4



原生林の中に点在する幻想的な五つの湖沼をめぐる。周囲の深い森や知床連山を投影する姿は、知床を代表する景観です。

03 熊越の滝 C5



羅臼川にある高さ約15mの滝です。知床横断道路から入る遊歩道は、バイカモが繁茂する清流に沿った道です。

04 知床峠 B5



斜里町と羅臼町を結ぶ知床横断道路の最高地点にある標高738mの峠です。満天の星空や、国後島から昇る朝日を望むことができます。※冬季通行止

05 羅臼湖 B5



大小4つの沼をめぐり、羅臼湖に到る羅臼湖歩道は、沼と山と植物とを一度に楽しむことができます。登山と同様の装備が必要となります。

06 羅臼岳 B4



山頂からは、東西の海からそそり立つ半島の絶景が望めます。登山には往復8時間以上かかり、7月下旬まで雪渓が残るため、十分な準備と計画が必要です。特に羅臼からのルートは上級者向けです。

Activity 流水クルーズ



羅臼周辺の根室海峡は日本屈指のホエールウォッチングポイントとして注目されています。季節とともに見ることができクジラ類の種類が変わることも魅力です。

Activity 観光船



ウトロから出航する観光船からは、断崖や滝の雄大な景観とともに、ヒグマやケイマフリなどを観察することができます。

Activity 流水体験ツアー



専用のドライスーツを着用して、ガイドとともに流水の上を歩いたり水の割れ目に浮かぶことができる。知床ならではの自然体験ツアーです。

Activity ホエールウォッチング



羅臼の海では、2-4月にかけて、流水とともにオオワシ、オジロワシ、ゴマフアザラシなどを間近に観察することができます。

Information 施設案内

知床世界遺産センター A4
〒099-4354
北海道斜里郡斜里町
ウトロ西186-10
道の駅うとろ・シリエトク橋
TEL | 0152-24-3255

羅臼ビジターセンター C5
〒086-1822
北海道目梨郡羅臼町
道の駅6番地27
TEL | 0153-87-2828

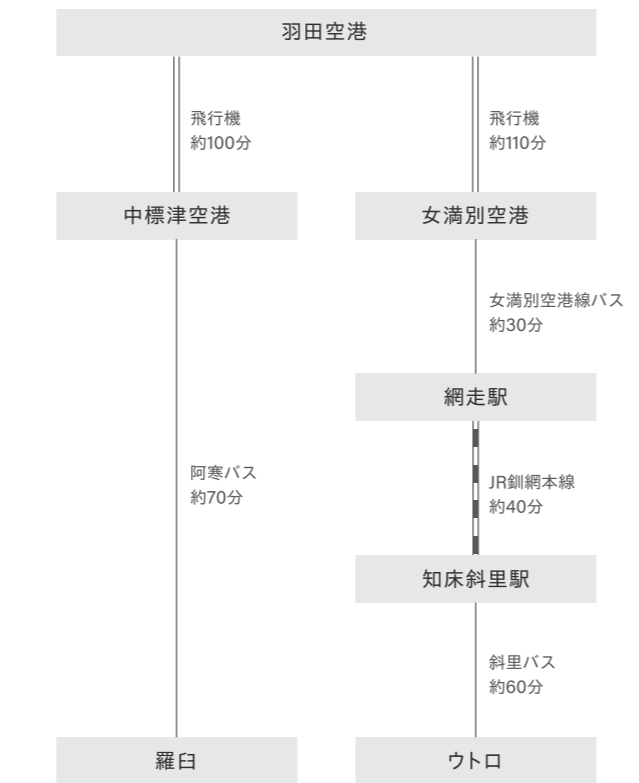
ルサフィールドハウス C4
〒086-1813
北海道目梨郡羅臼町北浜8
TEL | 0153-89-2722

知床自然センター B4
〒099-4356
北海道斜里郡斜里町
字岩字別531
TEL | 0152-24-2114

知床五湖フィールドハウス B4
〒099-4356
北海道斜里郡斜里町
大字遠音別村字岩尾別
TEL | 0152-24-3323

※開館時間などについて詳しくは各施設にお問い合わせください。

Access 交通アクセス



※アクセスルートは一例です。各区分間の所要時間は目安です。詳しくは各交通機関の窓口・ホームページなどでご確認ください。



※詳細な区域確認等に当たっては、担当の環境省自然保護官事務所等にお問い合わせください。